



# 一発合格者 INTERVIEW

小泉予備校 一発合格者  
**利根川 柁**さん

学習のコツは、1日に多くの科目に触れること。  
小泉予備校のシステムは、それにピッタリでした。

どう学習すればいいのかわからないのが、それが明確なのが良かった。

オススメしたい勉強方法は、1日に多くの科目に触れる事だと思えます。私の場合、直前期は、1日に全11科目に触れるようにしていました。小泉予備校は、インプット講座とアウトプット講座が1つの配信システムにまとまっているので、そうした学習がとてもスムーズでした。私の学習スタイルは、平日は仕事をしていましたので、1日に5〜6時間くらい勉強して、小泉先生の講義を、昼休みとか、帰宅後ご飯を食べている時に聴いていました。小泉先生の良いところは、各科目の最初の講義で、「この科目は、こんなふうに勉強してください」と必ずアドバイスしてくれるところです。例えば憲法だと、「まず3周反復してください。必ずできるようになります」みたいな。(笑) それぞれの科目を、どのように学習していけばいいか明確だったので、非常に学習効率が高かったと思います。月額制サービスについては、とにかく経済的です。司法書士は11科目もあり、テキストを揃えるだけでも莫大な費用がかかります。でも月額制だと、3300円で、小泉予備校の全カリキュラムが受講できて、テキストさえもダウンロードできてしまいます。これはスゴイことだと思います。

## 私が実践した学習法

- 1日に多くの科目に触れる。  
※直前期は、1日に全11科目に触れる
- インプットの後にすぐ過去問。  
※インプットの記憶定着も良くなる
- 1日に5〜6時間学習する。  
※講義は昼休みや食事中に受講
- 小泉予備校のテキストだけを完全にマスターする

### 記述式対策

小泉予備校の「基本編」「応用編」「答練」3つのカリキュラムを信じて完全マスター

小泉予備校の記述対策カリキュラムだけで本番で高得点を取れる実力が身に付く!

記述式は、本試験だと本当に難しく、初めてやる方は、きっと「これ全然できないんだろうな...」と思うはずなんです。でも、やっているうちに必ずできるようになります。小泉司法書士予備校の記述対策は、「基本編」「応用編」「答練」の3つを中心に学習していくのですが、この3つを、しっかりと学習すれば、必ず本試験でも戦える実力が身に付くはずなんです。私も最初、「基本編」をやり始めたときは、全くできなかったんですけど、「基本編」「応用編」「答練」と進んでいくにつれて、どんどん記述問題ができるようになっていきました。結果、本番の試験では高得点を取ることができました。これら記述式の学習カリキュラムは、非常に良かったです。

私は小泉予備校で1年で合格することができたのですが、インプットを含め、小泉予備校以外の参考書やテキストを使ったことはありません。「小泉予備校のテキストだけ」で合格することができました。今勉強されている方の中には「他の参考書やテキストを買ったほうがいいのかな?」と悩まれている方がいらっしゃると思うのですが、心配せず小泉予備校だけで突き進んで欲しいなと思います。

## 私の学習法

### 記述式対策について



小泉予備校の記述対策カリキュラムだけで、本番で高得点が取れる実力が身につきます。

小泉予備校のテキストは、レジメ形式なので、とても読みやすいんです。

ロッキー先生が出てきた時は、特に注目です。(笑)

小泉予備校は、テキストがとても分かりやすいです。特に良かった点は、2つあって、1つ目は、テキストにロッキー先生という印象的なキャラクターが登場してきて、各ポイントの重要度についてコメントしてくれるんです。(笑)

「ここは要注意だぞ!」「ここは忘れちゃダメだぞ!」「この違いに注意だ!」といったふうに。(笑)

ロッキー先生が出てきた時は、特に注目するように気をつけていましたね。そうしたポイントが、過去問とか本試験の大事など、出題されることがあって、「ロッキー先生ありがとう(涙)」と何度も思いました。(笑)

2つ目は、テキストが、「レジメタイプ」であるということです。法律を初めて学習される方だと、六法全書の条文がズラズラと並んでいると、かなり読みづらいと思います。でも、小泉予備校のテキストは、レジメ形式なので、とても読みやすいです。まとめノートの良さがそのまま残ったテキストという印象でしょうか。条文をただ読むだけだと法律って全然頭の中に入っていないですね。小泉予備校のテキストは、頭にスッと入ってくる。条文の背景などもしっかり解説されているので、とても理解しやすいと思います。